

## 令和 7 年度 第 2 回理事会

日 時：令和 7 年 10 月 30 日(木) 19:00～

場 所：長崎大学医学部保健学科、Web (Zoom)

出席者：本田、柳田、川原、新貝、田中陽、雄鹿、小路永、吉岡、西、松崎、中川、渡部、瀬川、竹内、三宅、有田、松本幸、松本華

欠席者：池山、沖田、池田、松本、田中貴、原田、川副、古川、鹿谷、松木、松尾、大石、平瀬、中村、片岡、坂本、濱本、城谷、渋谷、大賀、西山、藤原

※敬称略

### 議 題：

#### 1. 令和 7 年度前期事業報告・後期事業計画

##### 1) 事務局：

- ・会員動向の把握(正会員 727 名、準会員 104 名、合計 831 名)
- ・各期代表者に名簿送付(8月) → 9月末期限
- ・メール案内への移行が進みづらい状況のため、セミナー案内の際に再度メール案内への移行お願い文書を同封できれば。

#### ○令和 7 年度 定期総会 (スケジュール案)

開催日程：2026 年 2 月 7 日 (土)

開催方式：ハイブリッド開催

受付：13:30～

総会：14:00～14:20

1, 令和 7 年度事業報告

2, 令和 7 年度会計報告

3, 監査報告

4, 令和 8 年度事業計画

5, 令和 8 年度予算案

6, 役員改選

検討事項：会員動向確認の郵送→メールへの移行について

→

- ・Google form にて可能な限りシンプルに(同意の場合はチェックをつける程度)。また、メールへの移行必要性の説明を行う。
- ・メールアドレスを事務局で把握している会員について：メール移行への案内文を送付し、同意いただければ返信不要、同意できない場合は連絡くださいという方針はどうか(※た

だし、メールアドレスの利用理由を明記して伝えること)。

- ・上記内容は「個人情報の取り扱い」という内容で会則に記載する必要あるのでは。  
総会にて議案として取り扱う。→個人情報保護方針の作成済み文書あり、要確認。
- ・退会制度について  
→退会を設けることで、そもそも入会者が減るのではないか  
→退会できないシステムは法的に問題がありそう。大々的に公表はしないが、会則に記載する必要はあり。会員母数が今後も増え続け、返送・返信の無い会員が増えると総会にあたって過半数を得ることが難しくなることも懸念される。会費については永年会費であり返却はできない。
- ・「音信不通○年で自動退会」という設定はできないか?  
→「会員資格の喪失」という名目であれば可能か。要検討。
- ・会員動向の確認の際に、個人情報の用途や動向把握の必要性について改めて説明する必要あり。
- ・会員動向の確認について：住所・職場・電話番号は把握する必要ある?  
→メールアドレスが変更になった際に同門会からの案内が送付できなくなってしまう  
恐れがあるため、第2の連絡先として住所は把握しておく必要あり。

## 2) 学術部：令和7年度卒後セミナーの開催

○令和7年度 長崎大学 理学療法学同門会 卒後セミナー

開催日時：2026年2月7日（土）14:30～17:30

開催場所：長崎大学 歯学部教育研究棟 講義室2A

開催形式：対面形式とオンライン形式によるハイブリット開催

参加費：会員 1500円 準会員無料 会員外 2500円

### 【セミナーテーマ】

「臨床知をみがく症例報告—臨床への還元を目指して—」

### 【特別講演】14:30～16:00

「症例報告の臨床的意義とそのプロセス」

講師：畿央大学 石垣 智也 先生

司会：西 祐樹 先生

内容：症例報告の歴史や臨床的意義、進め方・考え方方に加えて、得られた仮説から実証に発展させていき、さらに症例・事例へと立ち返り、新たな仮説を得るという循環を通じてリハビリテーションの質の向上につなげていくプロセスをご提供いただく。

### 【話題提供 1】 16:10～16:40

「循環器理学療法における症例報告（仮）」→臨床のどのフェーズ？それ次第で話題提供者の順番を検討する。

講師：長崎記念病院 中川 晃一先生

司会：柳田先生，西 祐樹 先生

内容：循環器疾患症例における評価—治療—効果判定のプロセスを提示していただき、得られた臨床知や臨床還元へのエッセンスをご指導いただく。

### 【話題提供 2】 16:40～17:10

「運動器理学療法における症例報告（仮）」

講師：長崎大学病院 藤原 優大先生

司会：柳田 賴英 先生，西 祐樹 先生

内容：運動器疾患症例における、評価—治療—効果判定のプロセスを提示していただき、得られた臨床知や臨床還元へのエッセンスをご指導いただく。

### 【全体討議】 17:10～17:30

フロア、オンライン参加の方々からの質問を受付

→

- ・話題提供者の発表時間について：発表 20 分、質問 10 分の予定→ディスカッションの時間を拡大する？その場合は最初の質問者をあらかじめ決定しておく必要もありそう。
- ・質問時間を拡大した場合、全体討議は必要か？→必要
- ・スライドの事前チェックは必要あれば実施

### 3) 厚生部：

#### 1. 令和 7 年度懇親会の開催

場所：寶來軒

時間：18:30～（20:30 閉店のため）

100 名で予約、7000 円のコース

#### 2. 記念品（USB）

10 月中旬に 100 個納品→合計 138 個

今後は 3 年毎に 100 個注文予定

→

- ・懇親会は多くても 50 名程度か。予約人数の変更。
- ・記念品として、USB 以外に同様の価格帯 (1000-1200 円程度) で代案があれば。USB 繼続の場合も今後は TypeC 等の検討も必要かもしれない。

#### 4) 広報部 :

- ① 同門会ホームページの更新を予定
- ② 各 SNS (Facebook・X・LINE 公式アカウント) の管理・運営及びコンテンツの更新 (理事会の模様やセミナーの案内など)
- ③ 卒後セミナーのポスター作成を予定  
→ポスターはセミナーの仮案通りに作成して OK
- ④ 長崎県理学療法士協会への卒後セミナーの広報を依頼予定
- ⑤ 令和 7 年度卒後セミナー報告の執筆依頼を予定  
→保 17 期新川先生に依頼

→

- ・ホームページのドメイン料を次年度分も更新

○セミナーをポイント制にすることは可能か (PT 協会後期研修の症例報告の単位 : 該当は話題提供者の発表のみ)

- ・上記の場合どのような手順を踏む必要があるかリサーチする (中川先生、竹内先生)
- ・「登録更新」、「後期研修」両者のポイントとして扱えるのかどうか?  
登録更新 : 石垣先生の講義  
後期研修 : 症例報告
- ・申請先は : 県士会 ? PT 協会 ?
- ・同門会会員と非会員で参加費を分けているが取り扱いはどうなるか?

#### 5) 機関誌編集部 : 理学療法探求第 28 巻の発行

→

- ・文章について : 文書に対する質問事項は一様になるように答えを準備しておく。
- ・投稿規定の修正 : 原著と症例報告について、英文要旨は必要か? 話題提供の場合はどう取り扱う?  
→過去 2 年はつけていない。これまで英語能力を高める意図でつけていたが、AI が使えるようになった今は不要では。→不要で決定。

## 2. 会計報告

### 令和 7 年度 第 2 回同門会理事会 会計報告

令和 7 年 10 月 28 日時点

<一般会計>

#### 【収入の部】

同門会費	0 (28 名中 23 名分納入済み)
利息	1,531
合計	1,531

#### 【支出の部】

雑費	220
通信運搬費 (切手代)	220
通信運搬費 (会員動向)	3,960
設備費 (zoom 代)	2,804
雑費 (入学記念品)	140,350
合計	147,554

総残高 1,859,410

<特別会計>

#### 【収入の部】

合計 2243

#### 【支出の部】

合計 0

総残高 2,858,991

## 3. その他

各期代表の交代

保 17 期 前田 俊輔 先生 → 三宅 純平 先生